

# 2020年3月期 第1四半期決算説明資料

2019年 7月 30日

喜びを創り喜びを提供する

 寿スピリッツ

<https://www.kotobukispirits.co.jp/>



証券コード 2222



- 2020年3月期 第1四半期決算概要 P 1～15
- 2020年3月期 通期業績予想 P 16～20
- 今後の経営方針とセグメント別業績の概況 P 21～44
- 株式の状況・株主還元 P 45～48
- 参考情報 P 49～60

**2020年3月期**  
**第1四半期決算概要**

## 2020年3月期 第1四半期の業績ハイライト

**経常利益** 前年同期比**187.7%**、**純利益** 前年同期比**200.5%**

- 重点施策の遂行が寄与したことに加え、活況を呈した大型連休も追い風となり、売上面、利益面ともに第1四半期として過去最高値を更新。
- シュクレイの売上高は、**33.4%増収**の3,625百万円、営業利益は**倍増**の547百万円となり、引き続き、グループ業績を牽引。
- 国際線ターミナル売店卸売上高（インバウンド売上高）は、**32.6%増収**の1,501百万円。



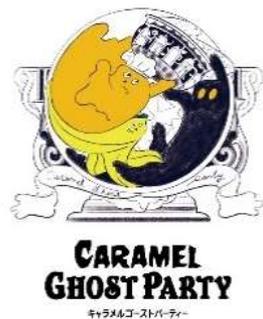
# 第1四半期のトピックス①

## シュクレイ ハイブリッド型店舗を3店出店(4~6月)

・吉祥寺・新宿・秋葉原の駅商業施設内でハイブリッド型店舗を出店



キャラメルゴーストパーティー  
キラリナ京王吉祥寺 (2019年4月)



レモンショップby FRANÇAIS  
新宿西口店 (2019年4月)



東京ミルクチーズ工場 Cow Cow Kitchen  
アトレ秋葉原 (2019年6月)





# 第1四半期のトピックス②

## 販売子会社 新スイーツブランド「BISPOCKE」を神戸・大阪に出店



BISPOCKE 神戸本店 (2019年4月)



BISPOCKE あべのハルカス近鉄本店 (2019年5月)



海のエクレア



山のエクレア



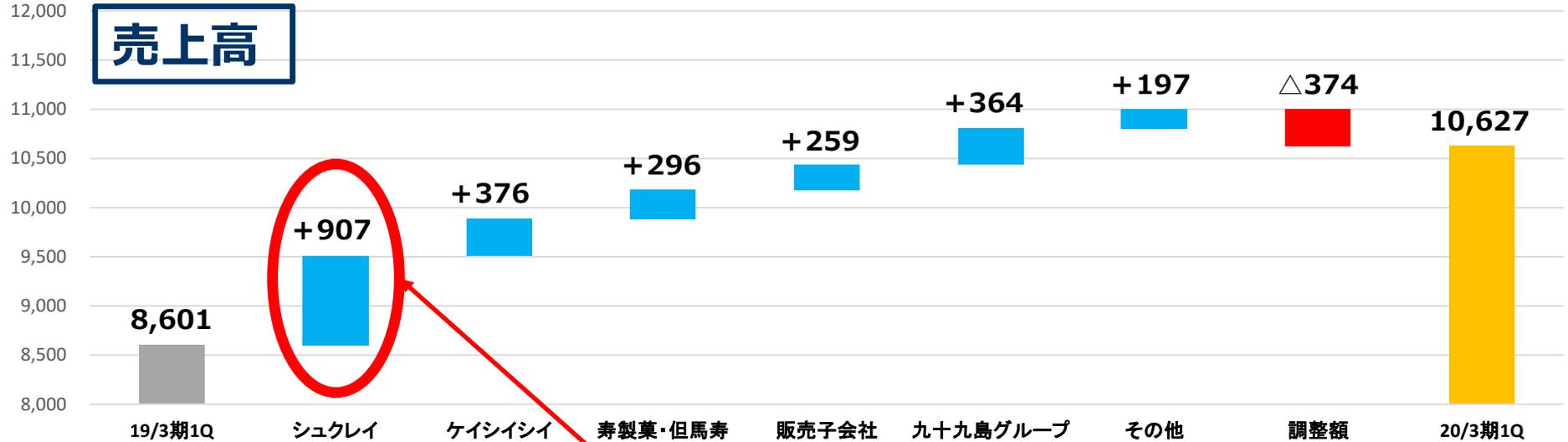
風のエクレア



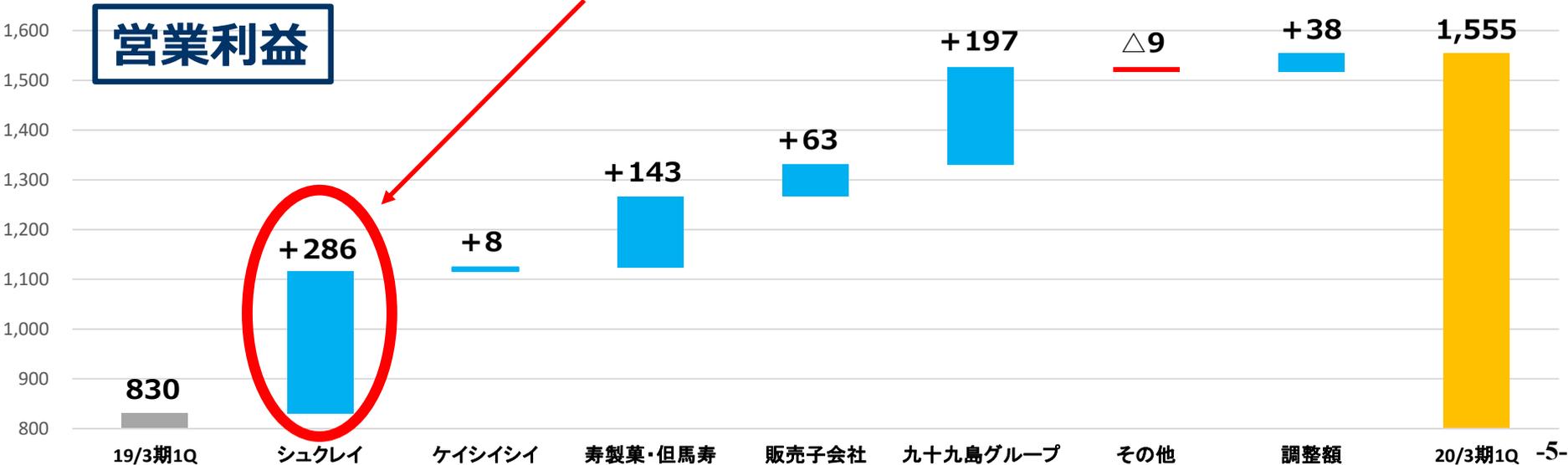
チーズクリームアップルパイ

# 2020年3月期第1四半期業績の前年同期比増減分析

(単位：百万円)



**シュクレイが大幅増収・増益**



# 重点施策の成果①

## ・インバウンド対策の強化

【国際線ターミナル売店卸売上高】(インバウンド売上高) (単位：百万円)

前第1四半期	当第1四半期	増減額	増減率
1,132	1,501	+369	+32.6%



東京ミルクチーズ工場 羽田空港 セントラル



LeTAO 関西空港 萬店



東京ミルクチーズ工場 関西空港 萬店

## 重点施策の成果②

### ・海外展開

#### 【海外売上高】

(単位：百万円)

前第1四半期	当第1四半期	増減額	増減率
215	458	※ 244	+113.5%

※この内、当第1四半期より香港子会社が連結対象になったことに伴い、香港向け売上を国内出荷ベースから、現地売上ベースに変更した影響額は84百万円。



LeTAO 中国上海 DoTEA新天地広場店



TOKYO MILK CHEESE FACTORY  
シンガポール Jewel Changi Airport店



## 重点施策の成果③

# ・首都圏でのWSR化展開の推進

## 【シュクレイ売上高】

(単位：百万円)

前第1四半期	当第1四半期	増減額	増減率
2,718	3,625	+907	+33.4%



シュクレイの売上高（前年比較）

(単位：百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	増減額	増減率
店舗	1,324	1,625	301	22.7%
催事	437	613	176	40.4%
通販	45	65	20	45.5%
卸	882	1,206	324	36.7%
卸（グループ向）	30	116	86	285%
合計	2,718	3,625	907	33.4%

シュクレイ FRANÇAIS 果実をたのしむミルフィユ  
JR東日本おみやげグランプリ2019 総合グランプリを獲得！

# 2020年3月期 第1四半期業績(対前年同期)

売上高 23.5%増収/純利益が倍増

売上総利益率が製造稼働率の向上等により3.2ポイント増加

(百万円、%)	前第1四半期 (18年4月～6月)		当第1四半期 (19年4月～6月)		対前年同期		(参考)前期 (18年4月～19年3月)	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率	金額	売上比
売上高	8,601	—	10,627	—	2,025	23.5	40,769	—
売上総利益	4,840	56.3	6,320	59.5	1,480	30.6	23,882	58.6
販売管理費	4,010	46.6	4,765	44.8	755	18.8	17,907	43.9
営業利益	830	9.6	1,555	14.6	725	87.4	5,976	14.7
経常利益	835	9.7	1,567	14.8	732	87.7	6,012	14.7
四半期(当期)純利益※	510	5.9	1,023	9.6	513	100.5	3,972	9.7
EPS(円)	16.39		32.86		16.47		127.64	

※ 四半期(当期)純利益＝親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

# 販売管理費・営業利益

販売管理費率は人件費率の低下等により 対前年同期比1.8ポイント減少

(百万円、%)	前第1四半期		当第1四半期		対前年同期		(参考)前期	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率	通期	売上比
売上総利益	4,840	56.3	6,320	59.5	1,480	30.6	23,882	58.6
人件費	1,743	20.3	1,916	18.0	173	9.9	7,015	17.2
販売促進費	624	7.3	757	7.1	134	21.4	3,139	7.7
運賃	346	4.0	459	4.3	112	32.5	1,705	4.2
広告宣伝費	63	0.7	68	0.6	5	8.3	268	0.7
地代家賃	537	6.2	713	6.7	176	32.9	2,591	6.4
減価償却費	91	1.1	130	1.2	39	42.2	451	1.1
旅費交通費	146	1.7	160	1.5	14	9.5	638	1.6
その他	460	5.3	562	5.3	102	22.1	2,098	5.1
販売管理費	4,010	46.6	4,765	44.8	755	18.8	17,907	43.9
営業利益	830	9.6	1,555	14.6	725	87.4	5,976	14.7

## セグメント別業績(対前期)

シュクレイが引き続き躍進/各セグメント軒並み増収・増益で推移

(百万円、%)	売上高				営業利益		
	前第1Q	当第1Q	増減額	増減率	前第1Q	当第1Q	増減額
シュクレイ	2,718	3,625	907	33.4	261	547	286
ケイシイシイ	2,502	2,878	376	15.0	243	251	8
寿製菓・但馬寿	2,394	2,690	296	12.4	204	347	143
販売子会社	1,347	1,606	259	19.2	99	163	63
九十九島グループ	695	1,059	364	52.4	△ 95	101	197
その他※	61	258	197	321.5	△ 20	△ 30	△ 9
セグメント計	9,717	12,117	2,399	24.7	692	1,379	687
調整額	△ 1,116	△ 1,490	△ 374	33.5	138	176	38
合計	8,601	10,627	2,026	23.5	830	1,555	725

※当第1四半期より連結対象となったHoney Sucrey Limited(香港)が含まれる。

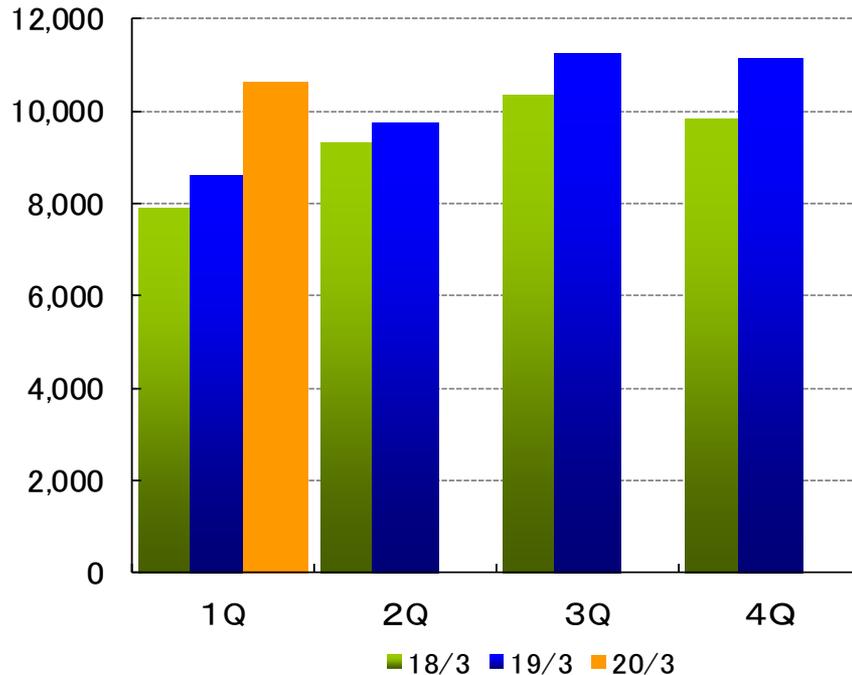
## 第1四半期 主要セグメントの状況

<p>シュクレイ</p>	<p>新規出店効果や既存店の販売強化などにより直営店売上が好調。また、営業強化などにより国際線ターミナル免税売店や駅売店などでの卸売上も伸長。本年4月に「洋菓子のフランス」の新業態店「レモンショップ by FRANCAIS」を小田急新宿駅西口地下構内に出店するなど、3店の出店及び1店の退店を実施。</p>
<p>ケイシイシイ</p>	<p>商品面では、販売強化により、主力商品が堅調に推移。販売チャネルでは、国際線ターミナル免税売店での卸売上が好調に推移したことに加え、通信販売がロイヤルカスタマー対策や限定商品投入などの対策強化などにより伸長。</p>
<p>寿製菓・但馬寿</p>	<p>主力商品の育成、新商品企画などの提案営業強化により、山陰地区及び代理店向け卸売上が好調に推移。また、前連結会計年度に実施したグループ向け生産の一部を他のグループ製造拠点に移管した減収要因も薄らぐ。</p>
<p>販売子会社</p>	<p>東海地区では、昨年11月に開店した伊勢神宮内宮前の新規出店効果や改元祝賀ムードも追い風となり、主力商品「伊勢奉祝えびせんべい」が好調。関西地区では、本年4月に新ブランド「ビスポッケ」神戸本店を立上げ、同年5月にあべのハルカス近鉄本店に出店。</p>
<p>九十九島グループ</p>	<p>前連結会計年度に実施した製造採算の改善に向けた取り組みが奏功。フレンチトースト専門店「アイボリッシュ」では、新商品「フレンチトーストフィナンシェ」を投入したことにより催事売上が堅調。</p>

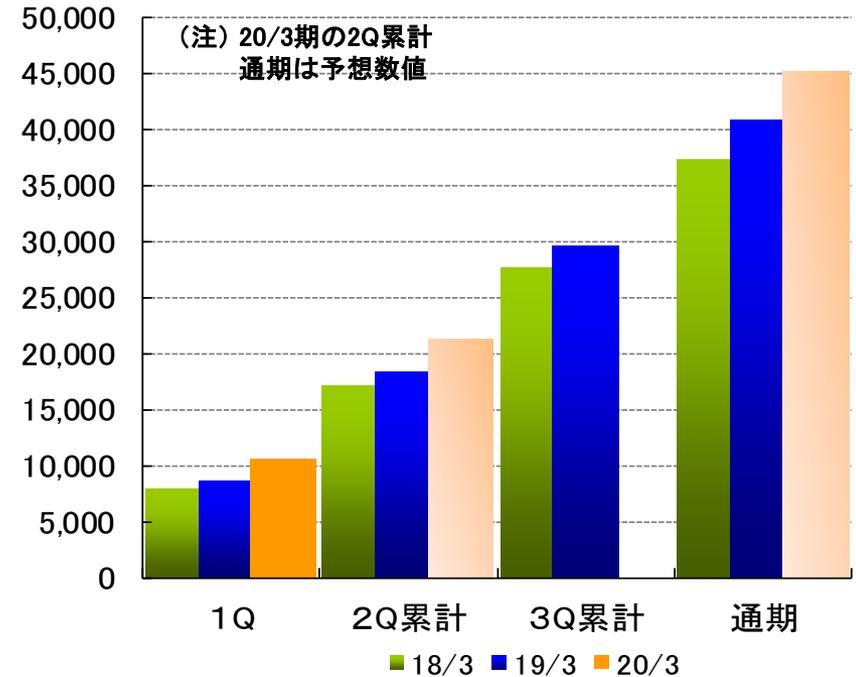
# 四半期業績の推移(売上高)

## 17四半期連続で増収

(百万円) 会計期間売上高の3期間比較



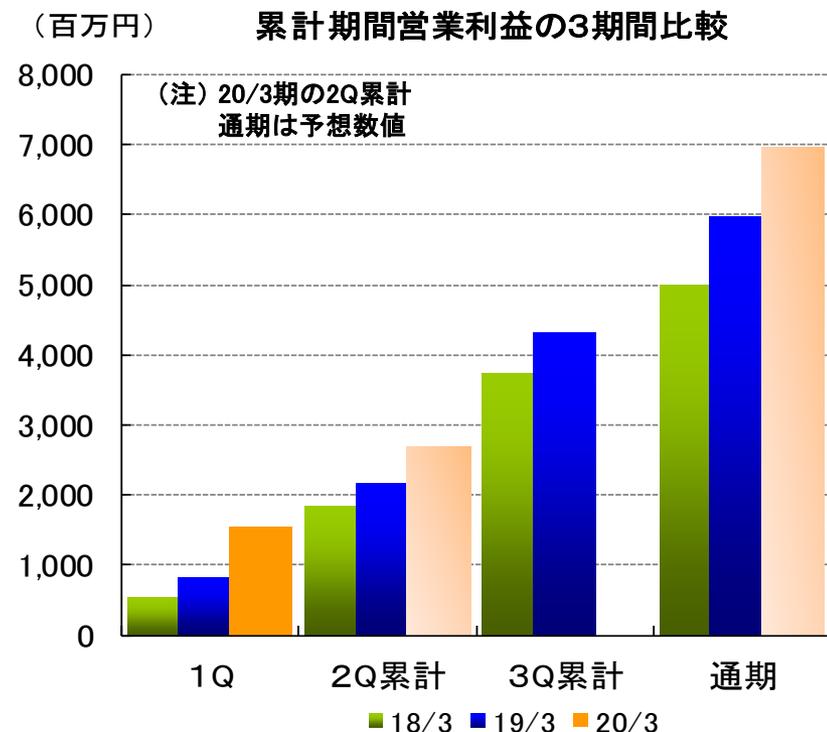
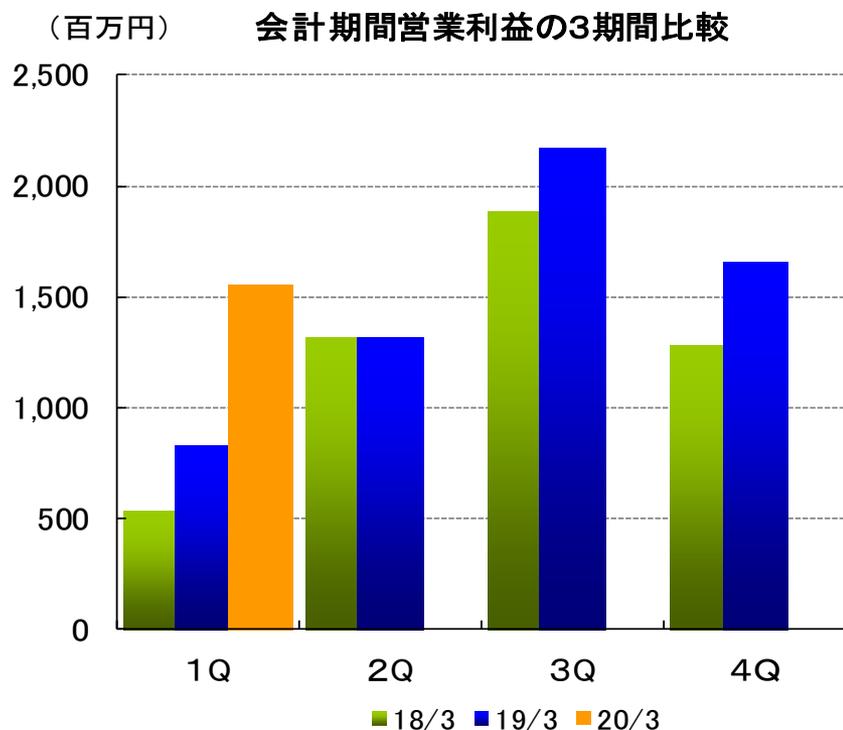
(百万円) 累計期間売上高の3期間比較



(百万円)	会計期間				累計期間			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q累計	3Q累計	通期
18/3	7,920	9,299	10,328	9,838	7,920	17,219	27,547	37,385
19/3	8,601	9,747	11,268	11,153	8,601	18,348	29,616	40,769
20/3	10,627	-	-	-	10,627	21,200	-	45,200
増減率	23.5%	-	-	-	23.5%	15.5%	-	10.9%

# 四半期業績の推移(営業利益)

## 17四半期連続で増益



(百万円)	会計期間				累計期間			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q累計	3Q累計	通期
18/3	535	1,314	1,882	1,281	535	1,849	3,731	5,012
19/3	830	1,321	2,167	1,658	830	2,151	4,318	5,976
20/3	1,555	-	-	-	1,555	2,700	-	6,970
増減率	87.4%	-	-	-	87.4%	25.5%	-	16.6%

# 貸借対照表

## 自己資本比率 前期末比0.6ポイント増加

(百万円、%)	18年3月期		19年3月期		20年3月期1Q		対前期末	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
流動資産	10,925	49.0	13,202	50.9	12,558	49.5	△ 644	△ 4.9
固定資産	11,352	51.0	12,751	49.1	12,838	50.5	87	0.7
資産合計	22,277	100.0	25,954	100.0	25,396	100.0	△ 557	△ 2.1
流動負債	4,908	22.0	5,804	22.4	5,515	21.7	△ 289	△ 5.0
固定負債	1,898	8.5	1,855	7.1	1,825	7.2	△ 30	△ 1.6
負債合計	6,805	30.5	7,659	29.5	7,340	28.9	△ 319	△ 4.2
純資産	15,472	69.5	18,294	70.5	18,056	71.1	△ 238	△ 1.3
負債純資産合計	22,277	100.0	25,954	100.0	25,396	100.0	△ 557	△ 2.1
BPS(円)	497.16		587.87		580.22		△ 7.65	△ 1.3



## 2020年3月期 通期業績予想

(通期業績予想は2019年5月14日付で公表した期初予想からの変更はありません。)

## 2020年3月期 通期業績予想のポイント

● 予想スタンス	<p>本年10月に予定されている消費税率引上げによる消費マインド悪化懸念など、当社グループを取り巻く事業環境は、厳しさが増すものと予想。そのような状況下、引き続き、首都圏及びインバウンド対策の強化、生産性の向上などにより、増収・増益を見込む。</p>
● セグメント	<p>「シュクレイ」は、新規出店効果、ブランド認知度向上により好調持続、「ケイシイイ」は、グループ向け生産移管も一巡、昨年9月発生 of 北海道胆振東部地震におけるマイナス影響の反動あり。「寿製菓・但馬寿」、「九十九島グループ」は生産移管の影響は第1四半期で一巡。「その他」には、連結子会社となり連結の範囲に含めたHoney Sucrey Limited(香港)を加算。</p>
● 新規出店等	<p>新規出店では、シュクレイで「レモンショップbyフランセ」小田急新宿駅西口(本年4月)、「キャラメルゴーストパーティ」キラリナ京王吉祥寺(本年4月)など。</p>
● 設備投資・減価償却費	<p>設備投資計画は、製造ラインの合理化、増産に向けた新設・改修などにより22億円を予想。減価償却費予想は14.5億円。</p>

## 2020年3月期 通期業績予想(対前期)

売上高**45,200**百万円(前期比**+10.9%**)、経常利益**7,000**百万円(同**+16.4%**)  
純利益**4,550**百万円(同**+14.5%**)

(百万円、%)	19年3月期		20年3月期(予想)		対前期	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	40,769	-	45,200	-	4,431	10.9
売上総利益	23,882	58.6	26,870	59.4	2,988	12.5
販売管理費	17,907	43.9	19,900	44.0	1,993	11.1
営業利益	5,976	14.7	6,970	15.4	994	16.6
経常利益	6,012	14.7	7,000	15.5	988	16.4
純利益	3,972	9.7	4,550	10.1	578	14.5
EPS(円)	127.64		146.21		18.57	14.5
1株当たり配当金(円)	40.00		40.00		-	-
設備投資	2,185		2,200		15	0.7
減価償却費	1,234		1,450		216	17.5

## 2020年3月期 通期業績予想(セグメント別)

シュクレイ 売上高16,000百万円 営業利益2,480百万円

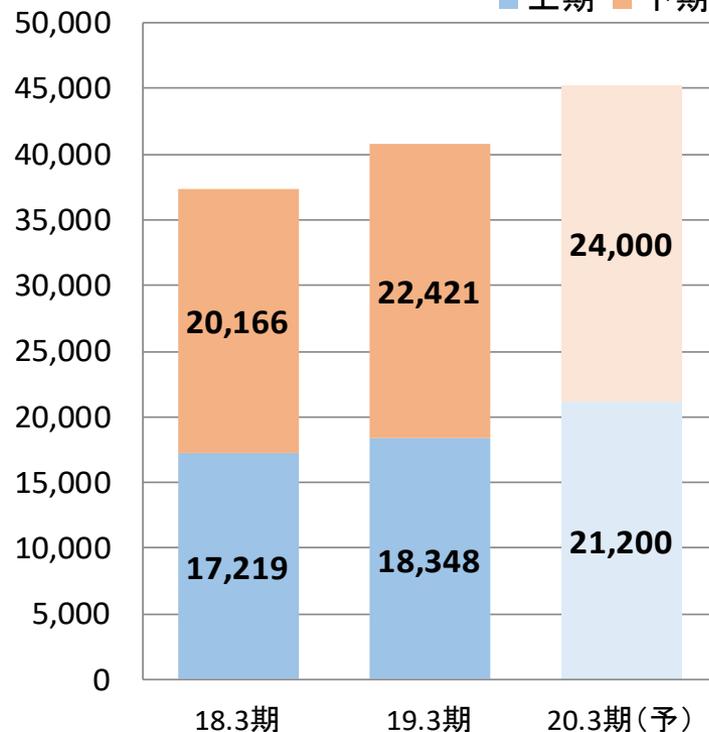
(百万円、%)	売上高				営業利益		
	19/3月期	20/3月期予	増減額	増減率	19/3月期	20/3月期予	増減額
シュクレイ	13,860	16,000	2,140	15.4	2,090	2,480	390
ケイシイシイ	12,012	13,000	988	8.2	1,553	1,790	237
寿製菓・但馬寿	10,080	10,680	600	6.0	1,073	1,156	83
販売子会社	5,829	6,170	341	5.8	467	507	40
九十九島グループ	3,759	4,300	541	14.4	120	220	100
その他	321	750	429	133.4	△ 91	△ 97	△ 6
セグメント計	45,862	50,900	5,038	11.0	5,211	6,056	845
調整額	△ 5,093	△ 5,700	△ 607	11.9	765	914	149
合計	40,769	45,200	4,431	10.9	5,976	6,970	994

# 2020年3月期 通期業績予想(上期・下期比較)

(百万円)

## 売上高

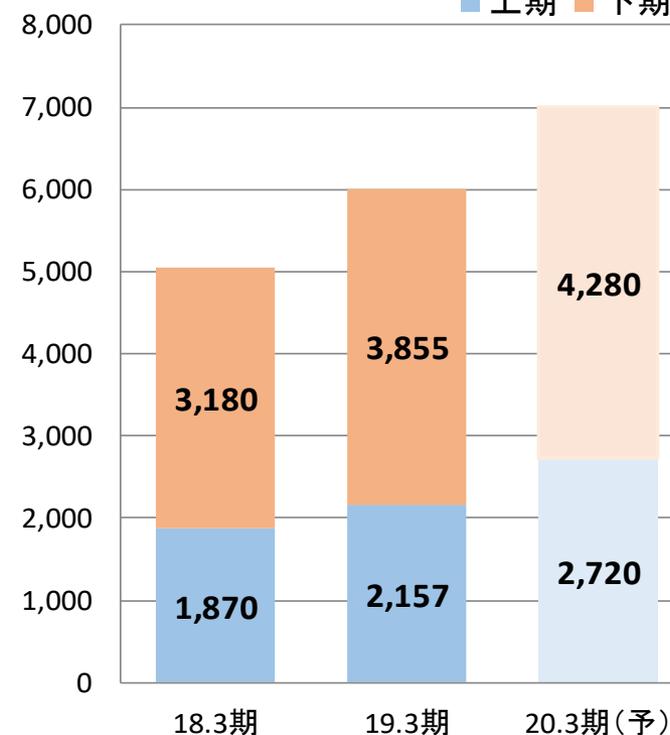
■ 上期 ■ 下期



(百万円)

## 経常利益

■ 上期 ■ 下期



(単位:百万円)

	売上高						経常利益					
	18.3期	構成比	19.3期	構成比	20.3期(予)	構成比	18.3期	構成比	19.3期	構成比	20.3期(予)	構成比
上期	17,219	46.1%	18,348	45.0%	21,200	46.9%	1,870	37.0%	2,157	35.9%	2,720	38.9%
下期	20,166	53.9%	22,421	55.0%	24,000	53.1%	3,180	63.0%	3,855	64.1%	4,280	61.1%
通期	37,385	100.0%	40,769	100.0%	45,200	100.0%	5,049	100.0%	6,012	100.0%	7,000	100.0%



# 今後の経営方針とセグメント別業績の概況

## 経営理念・基本ポリシー

### 経営理念

喜びを創り喜びを提供する

### 基本ポリシー

今日一人、熱狂的なファンを創る

私達は、経営理念の実現に向け、「**今日一人、熱狂的なファンを創る**」ことを基本ポリシーに、従業員一人ひとりが当事者意識をもって経営に参画する「**全員参画の理念経営**」の徹底実践により活力ある魅力溢れた企業集団を創り、「**高い価値を創造**」する高利益企業を目指してまいります。

# 経営理念をベースとした全員参画型経営を構築

1996年3月期より京セラ様の経営管理手法「アメーバ経営」を導入

2003年1月、経営哲学(フィロソフィー)を明文化した経営理念手帳「こづち」を作成し、すべての従業員に周知徹底、経営理念の浸透と企業倫理の徹底に努めています。

## 《こづち発表全国大会》

経営理念を徹底実践し、それぞれの実践による成果を全従業員が共有化し、更なる大きな成果を生み出していくことを目的に毎年1回開催しています。



## ビジョン(目指すべき方向性)

全国各地のお菓子のオリジナルブランドとショップブランドを創造する

# 「お菓子の総合プロデューサー」

## General Producer of the Sweets

- 「**高い価値の創造**」をテーマに美味しさ、品質に徹底的にこだわり「**地域性**(Local)」と「**専門店性**(Specialty)」を追求した独創性のあるお店及びお菓子創りを推進
- 地域ごとのマーケット特性にマッチしたお土産、パーソナル・ギフトから自家用まで多様な**プレミアム・ギフトスイーツ**(Premium Gift Sweets)の需要にブランドポートフォリオで適応

## 今後の経営方針

### 2019年経営スローガン

**超超絶 WSR!!**

**WSR** ワールド サプライジング リゾート宣言  
 ワールド(W) **世界へ**  
 サプライジング(S) **ありえないほどの驚きの**  
 リゾート(R) **非日常(超感動)**を提供する

### 実践項目

**シンカ・スピード・シンプル!**

シンカ 販売力、商品力、売場力をシンカさせる

スピード スタートの早さ、スピードの速さで完了の早さを追求する

シンプル イレギュラーを減らし、シンプルな流れに

### 目標指標

**売上高経常利益率 20%**

持続的な成長に向け、更なる粗利率の改善と成長戦略の遂行に注力

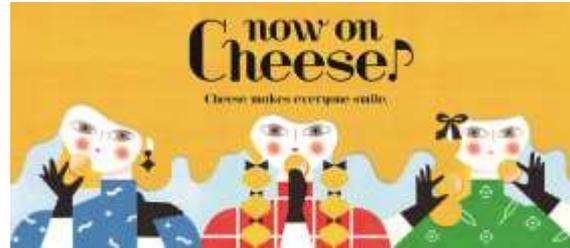
# 重点施策

## ①GTS(グレート・トランスフォーメーション・サクセス)

GTSとは、『Great・Transformation・Success』=大転換における成功を意味し、スピードとエネルギーを象徴する言語として命名

◆ビジネスモデル・商品・売場・販売のGTS化を図る

例:ハイブリッド型店舗(Premium Gift Sweets × Premium Fresh Sweets)の推進



FRANÇAIS



# ハイブリッド型店舗とは



×



(物販)

**Premium Gift Sweets**

(カフェ・工房)

**Premium Fresh Sweets**



×



(物販)

**Premium Gift Sweets**

(カフェ・工房)

**Premium Fresh Sweets**

## 重点施策

# ②インバウンド対策の強化

- ・国内空港国際線ターミナル免税エリアでの催事・常設売場拡大に注力
- ・直営店舗での免税対応、外国語接客・表示対応



LeTAO 東京ミルクチーズ工場  
羽田空港 セントラル



LeTAO 成田空港 本館AKIHABARA催事

## 重点施策

### ③海外展開（海外における事業モデルの構築）

- ・ ハイブリッド型店舗の出店強化によるブランド知名度の向上
- ・ 出店地域は、台湾、香港、韓国、フィリピン、タイ、シンガポール、中国マレーシア、カナダの9カ国



LeTAO 中国 南京店(2019年7月)



TOKYO MILK CHEESE FACTORY  
中国上海 ガンフェイ店(2019年7月)

# 重点施策

## ④首都圏でのWSR化展開の推進

- ・シュクレイ 既存店売上の増大、新規出店、リロケーション、催事強化及び卸売販路拡大
- ・グループ各社 主力ブランドによる催事展開の推進



## 重点施策数値目標

(単位：百万円)

	実績 18年3月期	実績 19年3月期	目標数値 20年3月期
国際線ターミナル売店卸売上 (インバウンド売上)	3,472	4,605	5,700
海外売上	1,156	1,318	1,800
シュクレイ売上	11,547	13,860	16,000

海外売上…台湾及び香港(20/3期から)は現地法人売上、その他の地域は、国内出荷売上(ロイヤルティ含む)  
シュクレイ売上…シュクレイの売上はインバウンド及び海外売上を含む

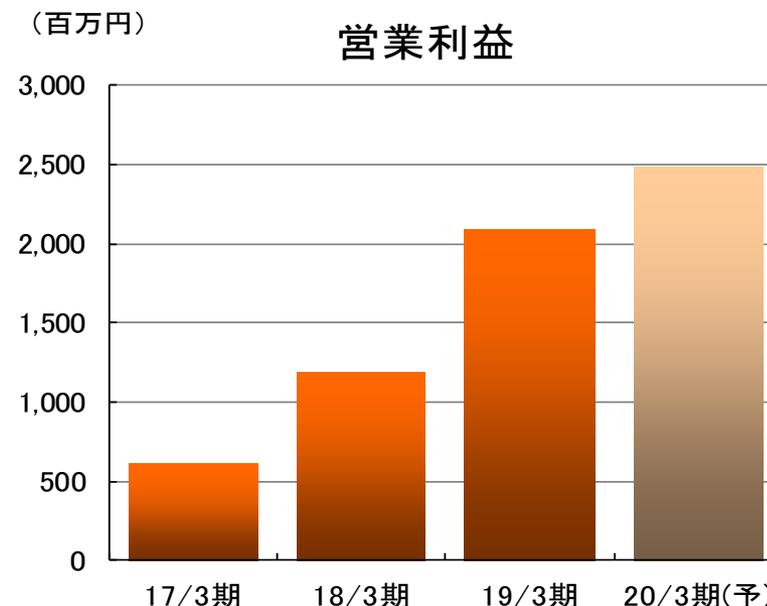
## セグメント別概況



- シュクレイ
- ケイセイセイ
- 寿製菓・但馬寿
- 販売子会社
- 九十九島グループ
- その他

# 《シュクレイ》

20/3期予想:売上高 **16,000**百万円(前期比**+15.4%**)営業利益 **2,480**百万円(同**+18.7%**)



## シュクレイ

(百万円,%)	17/3期	18/3期	19/3期	対前期		20/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	9,275	11,547	13,860	2,313	20.0	16,000	2,140	15.4
売上総利益	4,990	6,692	8,682	1,991	29.7	10,120	1,438	16.6
粗利率	53.8	58.0	62.6	4.7		63.3	0.6	
販売管理費	4,379	5,504	6,592	1,089	19.8	7,640	1,048	15.9
営業利益	611	1,188	2,090	902	76.0	2,480	390	18.7

※従来、独立セグメントとしていたフランセは、2017年4月1日付けの組織再編(吸収合併)に伴い、シュクレイに統合。  
17/3期実績は、当該報告セグメント区分に基づき組替えた数値を使用しております。



# 《シュクレイ》

現場力の強化により、更なるブランド価値の向上を図り、首都圏での成長を加速させる

- ・既存店の更なるレベルアップと新規出店、リロケーション、催事及び卸展開の強化
- ・新規出店では、駅商業施設を中心にハイブリッド型店舗による新たな売場獲得を図る



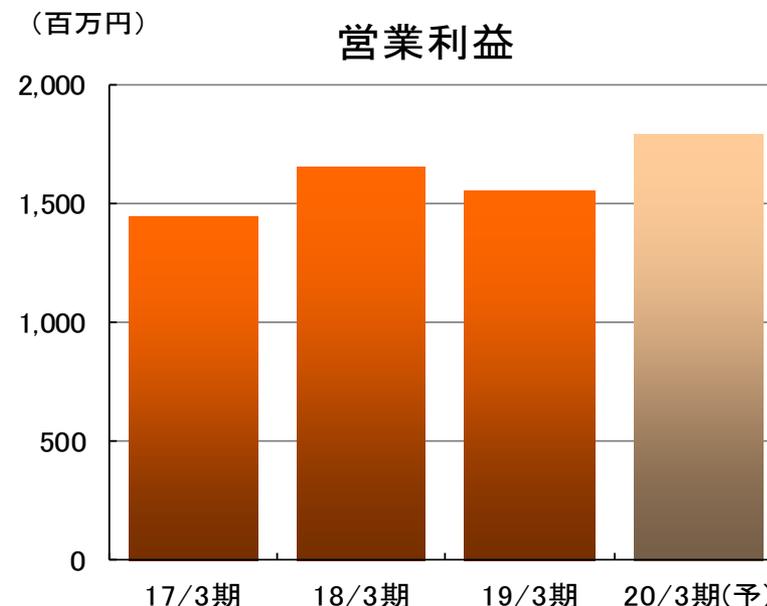
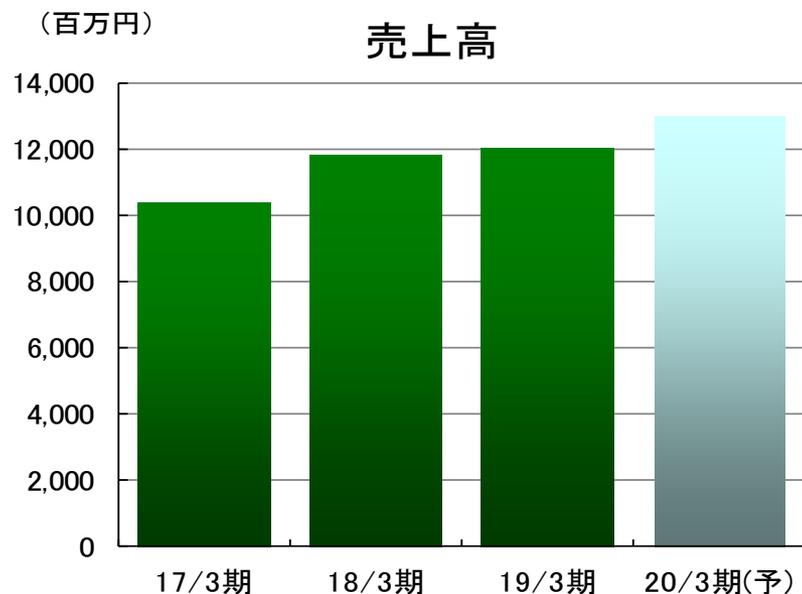
CARAMEL GHOST PARTY キャラメルバナナスフレ



Cow Cow Kitchen 秋葉原店限定商品  
のむスイーツ ショートケーキ レアチーズケーキ

# 《ケイシイシイ》

20/3期予想:売上高 **13,000**百万円(前期比**+8.2%**)営業利益 **1,790**百万円(同**+15.3%**)



## ケイシイシイ

(百万円,%)	17/3期	18/3期	19/3期	対前期		20/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	10,376	11,841	12,012	170	1.4	13,000	988	8.2
売上総利益	6,280	7,230	7,479	249	3.4	8,170	691	9.2
粗利率	60.5	61.1	62.3	1.2		62.8	0.6	
販売管理費	4,834	5,573	5,927	353	6.3	6,380	453	7.6
営業利益	1,446	1,657	1,553	△ 105	△ 6.3	1,790	237	15.3



# 《ケイシイシイ》

## LeTAOの更なるブランド価値向上と新ブランド展開に注力

- ・商品開発を推進し、季節イベントでの訴求力向上を図る
- ・首都圏でのハイブリッド型店舗展開を推進
- ・通信販売はロイヤルカスタマー対策、季節限定商品等の強化を図る



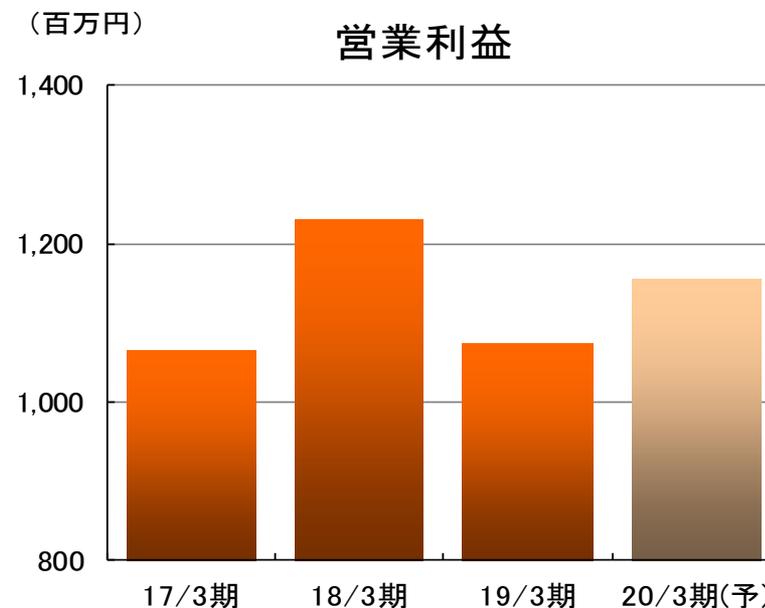
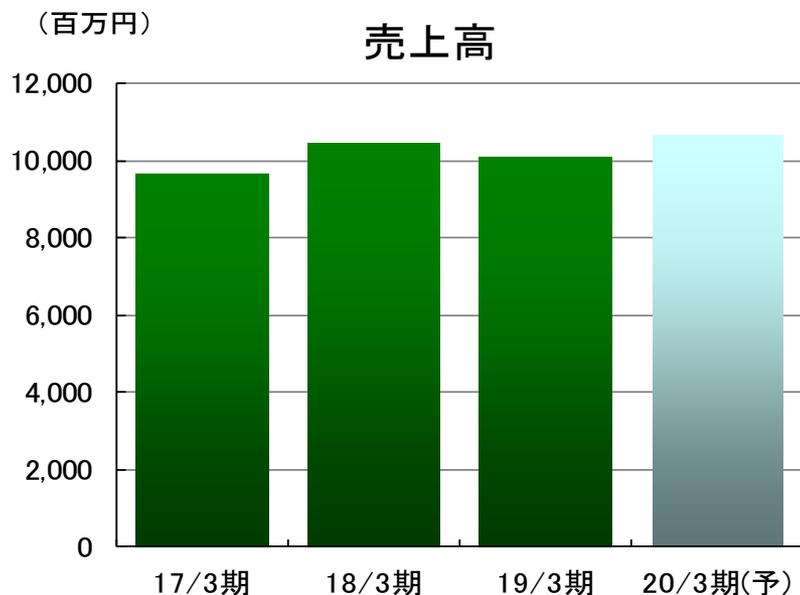
GLACIEL サブレグラッセ



LeTAO ミルティーユ ペルル

# 《寿製菓・但馬寿》

20/3期予想:売上高 **10,680**百万円(前期比**+6.0%**)営業利益 **1,156**百万円(同**+7.7%**)



## 寿製菓・但馬寿

(百万円,%)	17/3期	18/3期	19/3期	対前期		20/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	9,635	10,428	10,080	△ 348	△ 3.3	10,680	600	6.0
売上総利益	3,748	3,958	3,866	△ 92	△ 2.3	4,026	160	4.1
粗利率	38.9	38.0	38.4	0.4		37.7	△ 0.7	
販売管理費	2,682	2,729	2,793	64	2.4	2,870	77	2.8
営業利益	1,065	1,230	1,073	△ 157	△ 12.7	1,156	83	7.7

# 《寿製菓・但馬寿》

## 新ライン体制構築により、多種多様な製品生産システムの 一層のレベルアップを図る

- ・代理店及びグループ各社との連携強化により、主力商品の強化及び新商品の育成をサポート
- ・自社ブランドでは、「因幡の白うさぎ」などの主力商品強化、「KAnoZA」ブランドでの催事展開を推進



しじみのチーズサンド



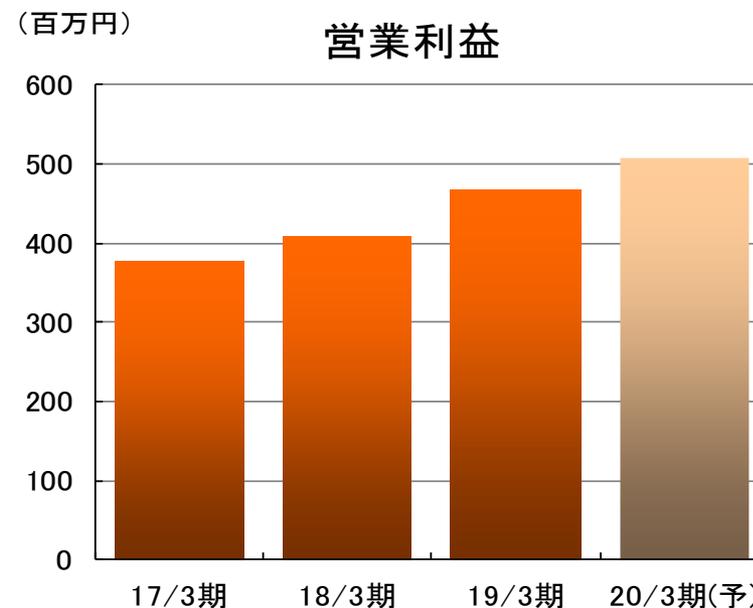
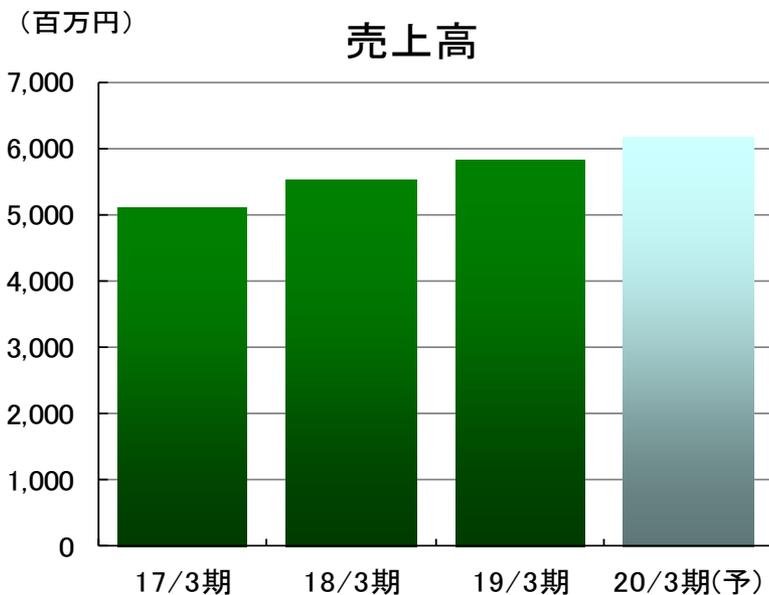
大山ソフトクリームサンドクッキー



白ウサギフィナンシェ

# 《販売子会社》

20/3期予想:売上高 **6,170**百万円(前期比**+5.8%**)営業利益 **507**百万円(同**+8.6%**)



## 販売子会社

(百万円,%)	17/3期	18/3期	19/3期	対前期		20/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	5,120	5,518	5,829	311	5.6	6,170	341	5.8
売上総利益	1,706	1,863	2,057	193	10.4	2,193	136	6.6
粗利率	33.3	33.8	35.3	1.5		35.5	0.3	
販売管理費	1,329	1,454	1,590	136	9.3	1,686	96	6.0
営業利益	377	409	467	57	14.0	507	40	8.6

# 《販売子会社》

## 主力商品の育成及び新商品の拡販に向け、提案営業強化

- ・交通拠点チャネル(駅・空港・SA)を中心に、売場拡大、リロケーションなど提案営業を強化

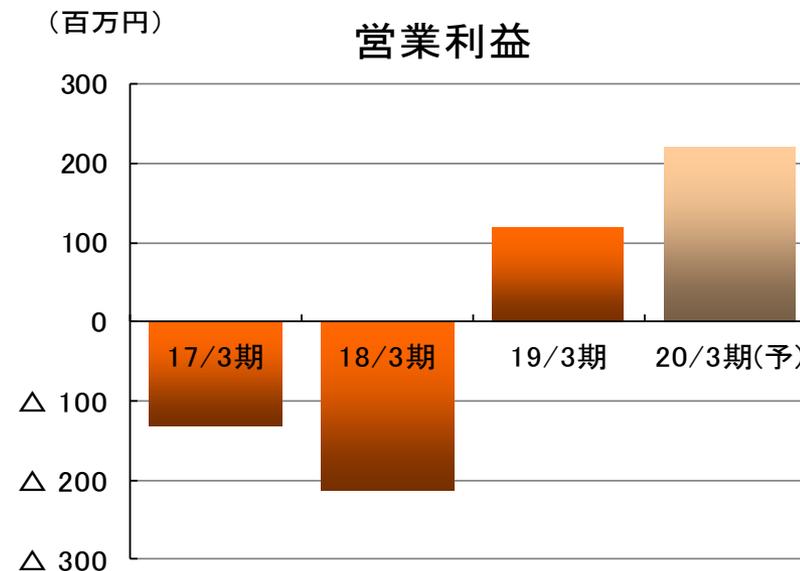
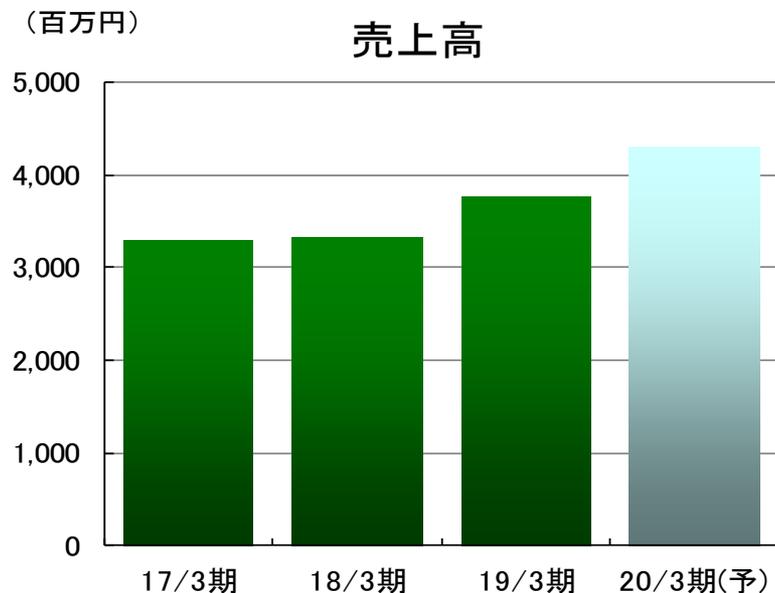


KYOTO VENETO 京都ポルタ店(2019年7月)

花福堂 まっかな苺ブランド 博多デイトス催事

# 《九十九島グループ》

20/3期予想:売上高 **4,300**百万円(前期比**+14.4%**)営業利益 **220**百万円(同**+83.8%**)



## 九十九島グループ

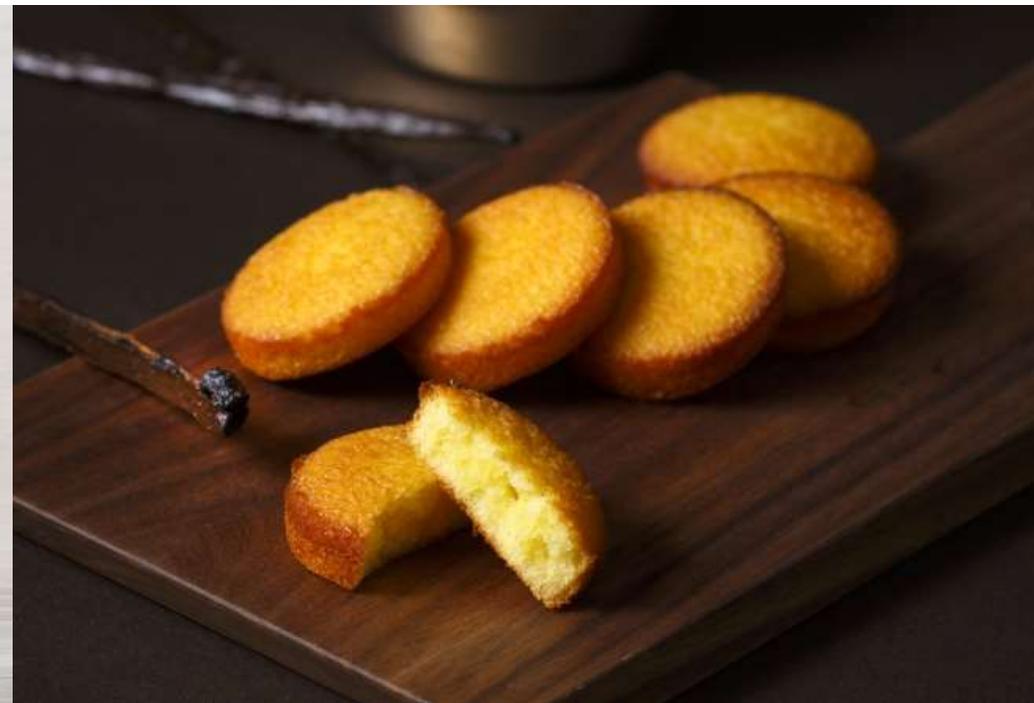
(百万円,%)	17/3期	18/3期	19/3期	対前期		20/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	3,287	3,319	3,759	440	13.3	4,300	541	14.4
売上総利益	1,389	1,383	1,709	326	23.6	1,990	281	16.5
粗利率	42.2	41.7	45.5	3.8		46.3	0.8	
販売管理費	1,519	1,596	1,589	△ 7	△ 0.4	1,770	181	11.4
営業利益	△ 131	△ 213	120	333	-	220	100	83.8

# 《九十九島グループ》



## 更なる売上増大及び生産性の向上により、収益改善を図る

- ・主力商品強化及び新商品投入などにより長崎及び福岡エリアの売上増大を図る
- ・フレンチトースト専門店「Ivorish」は、既存店の充実と催事展開を強化し、ブランド認知度の向上を図る



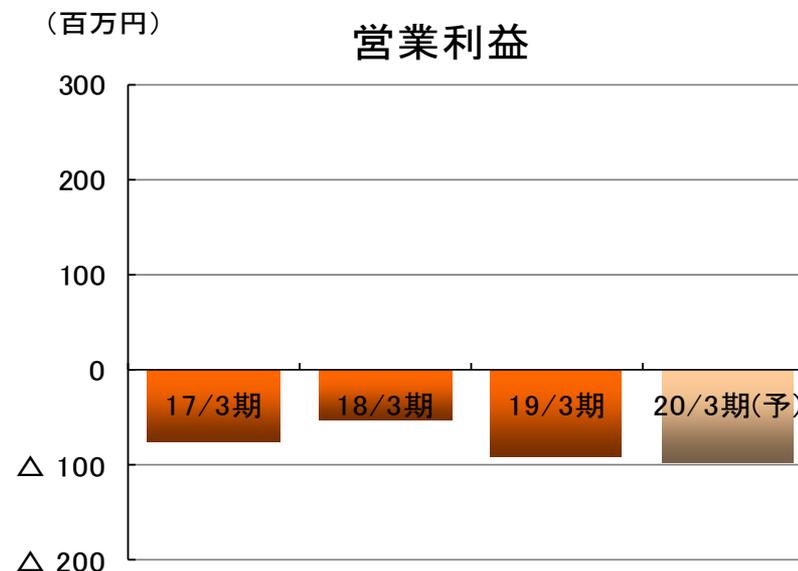
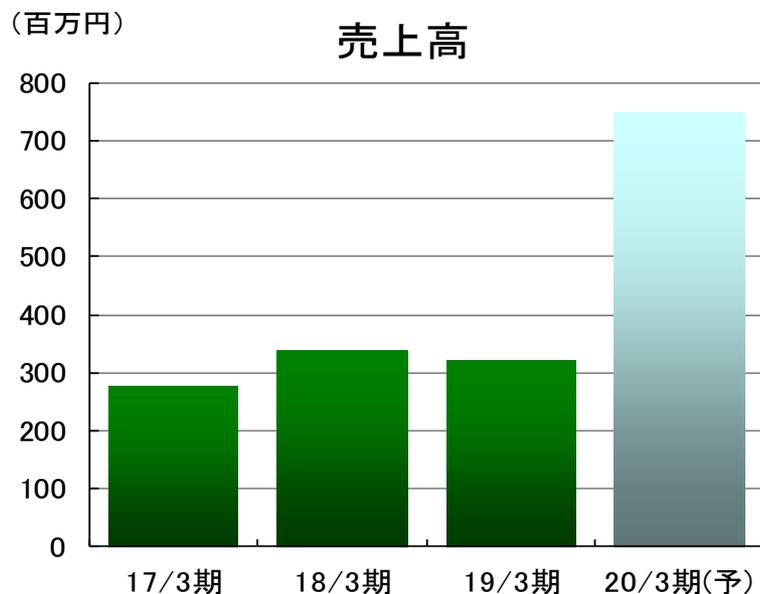
Ivorish  
フレンチトーストフィナンシェ キャラメル



I LOVE CUSTARD NEUFNEUF  
バニラカスタードケーキ

# 《その他》 <損害保険代理業、健康食品事業、海外(台湾・香港)菓子事業>

20/3期予想:売上高 **750**百万円(前期比**+133.4%**)営業利益 **△97**百万円(前期△91百万円)



## その他

(百万円,%)	17/3期	18/3期	19/3期	対前期		20/3期(予)	対前期	
	金額	金額	金額	増減額	増減率	金額	増減額	増減率
売上高	278	340	321	△ 19	△ 5.5	750	429	133.4
売上総利益	175	198	191	△ 7	△ 3.4	468	277	144.4
粗利率	62.9	58.3	59.6	1.3		62.4	2.8	
販売管理費	250	251	283	32	12.8	565	282	99.7
営業利益	△ 75	△ 53	△ 91	△ 39	-	△ 97	△ 6	-

●20/3期(予想)より香港の連結子会社 Honey Sucrey Limitedを「その他」セグメントに含めております。

# 《その他》

- ・台湾菓子事業 ブランド価値の向上、新規出店などにより経営改善を図る
- ・香港菓子事業 既存店の売場改善、ハイブリッド型店舗獲得により事業再建を図る
- ・健康食品事業(純藍事業) 藍の認知度拡大と薬局向け卸ビジネスの構築に注力



**TOKYO MILK CHEESE FACTORY**  
台湾 Breeze南山atre店



**LeTAO 香港 Mira Place店**



# 株式の状況・株主還元

# 株式の状況

(2019年3月31日現在)

■発行可能株式総数 91,200,000株

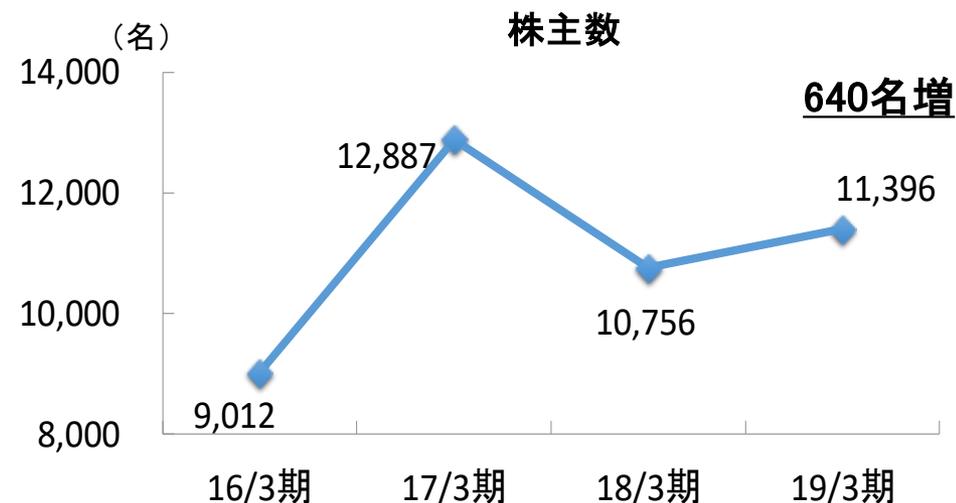
■発行済株式総数 31,121,520株

■単元株式数 100株

■株主数 11,396名

(対前期末比 640名増)

■大株主(上位5位)



株主名	持株数(株)	出資比率(%)
エスカワゴエ株式会社	9,300,000	29.88
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社(信託口)	1,715,100	5.51
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	1,475,800	4.74
株式会社山陰合同銀行	900,000	2.89
とりぎんリース株式会社	762,000	2.45

注)出資比率は、自己株式1,863株を除く

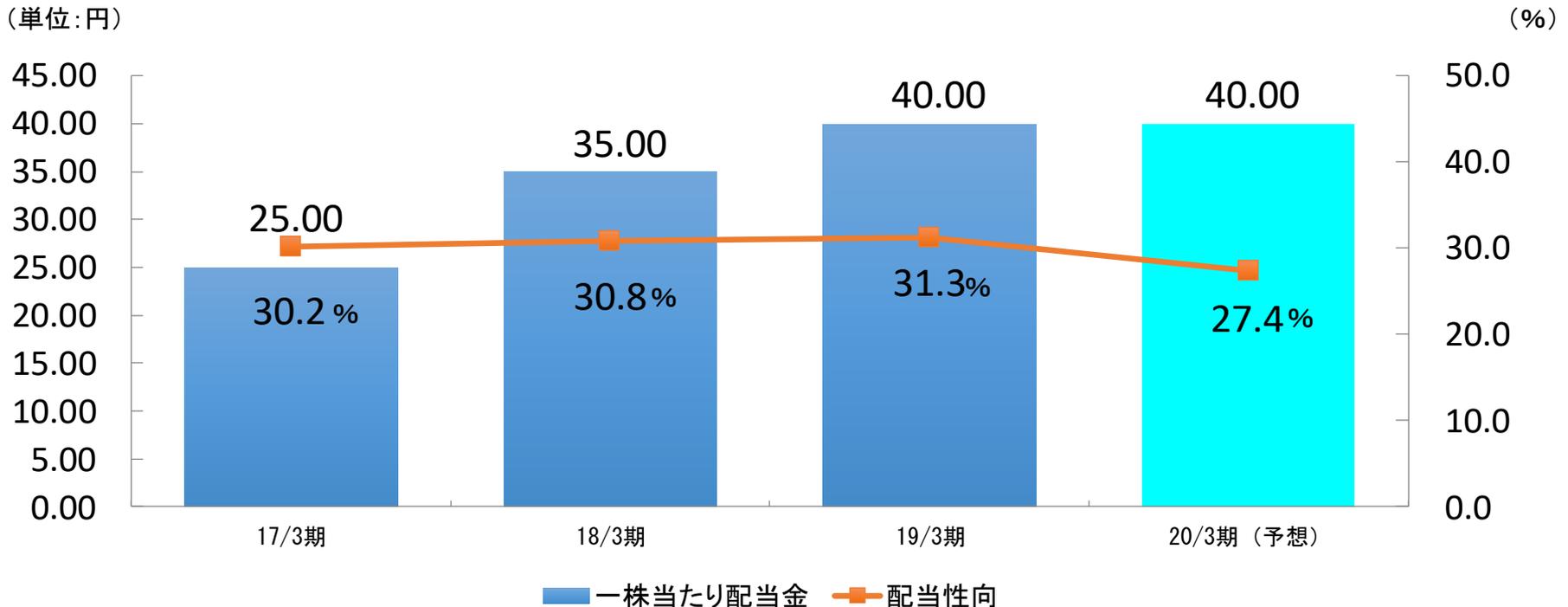
# 株主還元

## ■ 配当方針

長期にわたり、安定して利益還元ができるよう、内部留保、業績水準ならびに配当性向等を総合的に勘案し、利益還元を努めることを基本方針としております。

## ■ 2020年3月期1株当たり配当金予想 **40円**

一株当たり配当金・配当性向推移



# 株主優待制度について

当社では、毎期3月末現在、当社株式を100株以上ご所有の株主様に対し、次のとおり株主優待をお贈りいたします。

ご所有株式数	内容
100株以上500株未満	2,000円相当のグループ製品
500株以上1,000株未満	4,000円相当のグループ製品
1,000株以上	4,000円相当のグループ製品 + 3,000円相当の直営店舗利用券(代替商品送付可)

## 【2019年度の株主優待商品】

100株以上500株未満ご所有の株主様  
2,000円相当のグループ製品



500株以上ご所有の株主様  
4,000円相当のグループ製品



## 【株主優待券】

1,000株以上ご所有の株主様





# 《参考情報》

# 会社概要



商号	寿スピリッツ株式会社
証券コード	2222(東証第一部)
会社所在地	〒683-0845 鳥取県米子市旗ヶ崎2028番地
設立	1952年4月25日
資本金	12億1,780万円
代表取締役社長	河越 誠剛
従業員数	単体9名・連結1,433名
グループ会社	連結子会社18社(国内16社・海外2社)
連結売上高	408億円(2019年3月期)

# 沿革(1)

- 1952年4月 (昭和27年) 鳥取県米子市角盤町に**寿製菓株式会社**を設立し、飴菓子等の製造を開始。
- 1959年4月 (昭和34年) 観光土産菓子部門に進出。
- 1968年11月 (昭和43年) 銘菓“**因幡の白うさぎ**”を発売し、観光土産用菓子の高級化に取り組む。
- 1972年4月 (昭和47年) 石川県加賀市に株式会社コトブキ(現 株式会社北陸寿)を設立。その後西日本を中心に販売子会社を順次設立し全国に販売網を広げる。
- 1979年5月 (昭和54年) 現在地(鳥取県米子市)に本社工場を新築移転。
- 1987年3月 (昭和62年) 兵庫県美方郡新温泉町に**株式会社但馬寿**を設立。
- 1988年 (昭和63年) 地元特産の果物を使い、その土地限定で販売する『草冠のない菓子=菓子』をコンセプトに、他社との差別化展開を図る。【旅の味覚の演出家】
- 1993年4月 (平成5年) 鳥取県米子市に製造工程を見学できる大型販売施設『**お菓子の壽城**』を設置。小売事業に本格着手。
- 1994年11月 (平成6年) ジャスダック上場。
- 1996年4月 (平成8年) 北海道千歳市に株式会社コトブキチョコレートカンパニー(現**株式会社ケイシイシイ**)を設立し北海道へ本格進出。製造拠点としてチョコレート、ラングドシャのアイテムが加わる。



“因幡の白うさぎ”



寿製菓(株) 本社工場



お菓子の壽城

## 沿革(2)

- 1998年6月 (平成10年) 創業100年老舗商標を譲受け、東京都中央区に株式会社つきじちとせを設立。東京和菓子ブランド展開に着手。  
北海道小樽市に株式会社ケイセイシイが『小樽洋菓子舗ルタオ』を設置。洋菓子小売専門店立上げ。
- 2005年2月 (平成17年) 営業譲受けにより株式会社九十九島エスケイファーム他3社より菓子の製造・販売事業を継承し、株式会社九十九島グループスタート。
- 2006年10月 (平成18年) 寿スピリッツ株式会社に社名変更、会社分割により純粋持株会社体制に移行。
- 2011年12月 (平成23年) 東京都港区に株式会社シュクレイを設立。
- 2012年1月 (平成24年) 株式会社つきじちとせが、株式会社シュクレイに事業の一部を譲渡し解散。
- 2012年11月 (平成24年) 台湾台北市に台湾北壽心股份有限公司を設立。
- 2013年4月 (平成25年) 東京証券取引所市場第二部に上場。
- 2014年4月 (平成26年) 東京証券取引所の市場第一部に銘柄指定。
- 2014年9月 (平成26年) 東京都港区に純藍株式会社を設立。
- 2016年1月 (平成28年) 株式会社フランセの全株式を取得して子会社化。
- 2017年4月 (平成29年) 株式会社シュクレイが株式会社フランセを吸収合併。
- 2018年11月 (平成30年) 合併会社の持分取得によりHoney Sucrey Limitedを子会社化。



小樽洋菓子舗ルタオ



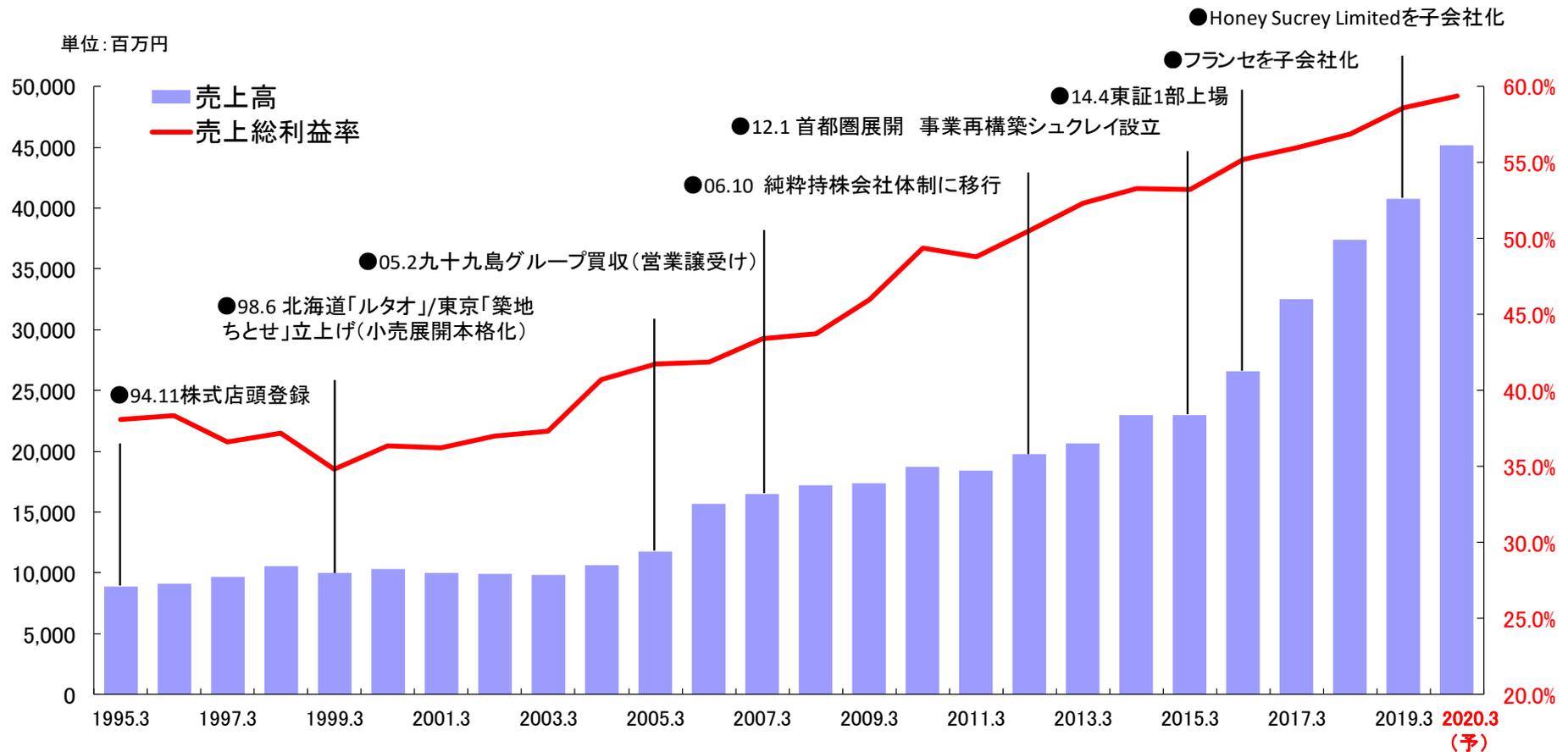
“ドゥーブルフロマージュ”



“九十九島せんぺい”

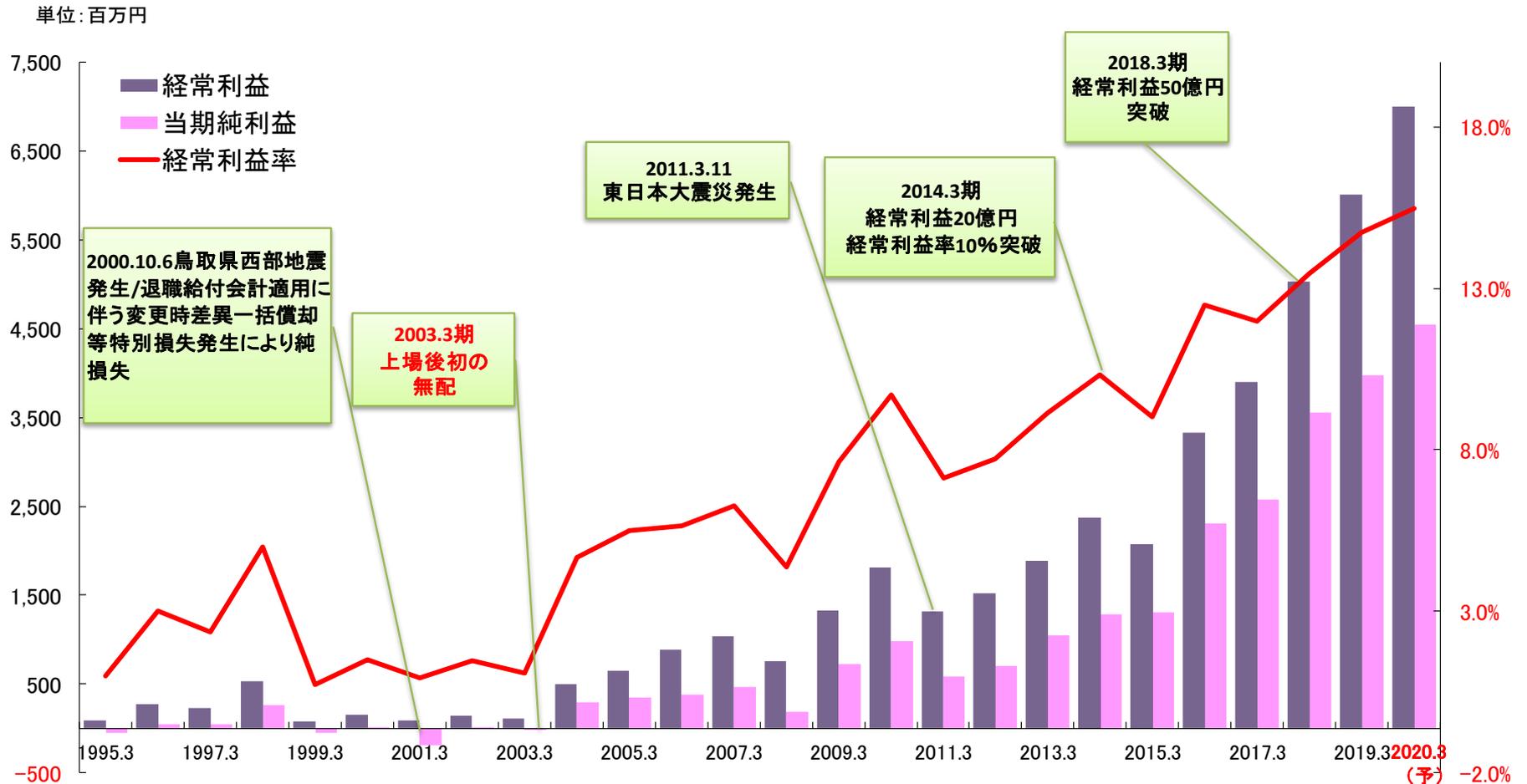
# 寿スピリッツグループの変遷①

**製造卸から製造小売へ事業モデルを転換 / 高粗利益率経営を推進**  
**組織改革、事業再構築、M&A など果敢に取り組む**



# 寿スピリッツグループの変遷②

当期純利益 2013年3月期から7期連続で過去最高を更新



# 主要ショップブランド

お菓子の**壽城**



(山陰)

**KÄNOZA**  
IZUMO

(山陰)



(北海道)



(福岡・東京)



東京ミルクチーズ工場

(東京)



(東京)



(佐世保・福岡)



(神戸)



(東京)



**FRANÇAIS**  
(東京)

# 主力商品一例



Nostalgic Modern  
**LeTAO**  
\*Nostalgic Sweets Master\*

「ドゥーブルフロマージュ」



寿製菓株式会社「因幡の白うさぎ」



「ソルト&カマンベールクッキー」



「果実をたのしむミルフィユ」



「バターフィナンシェ」



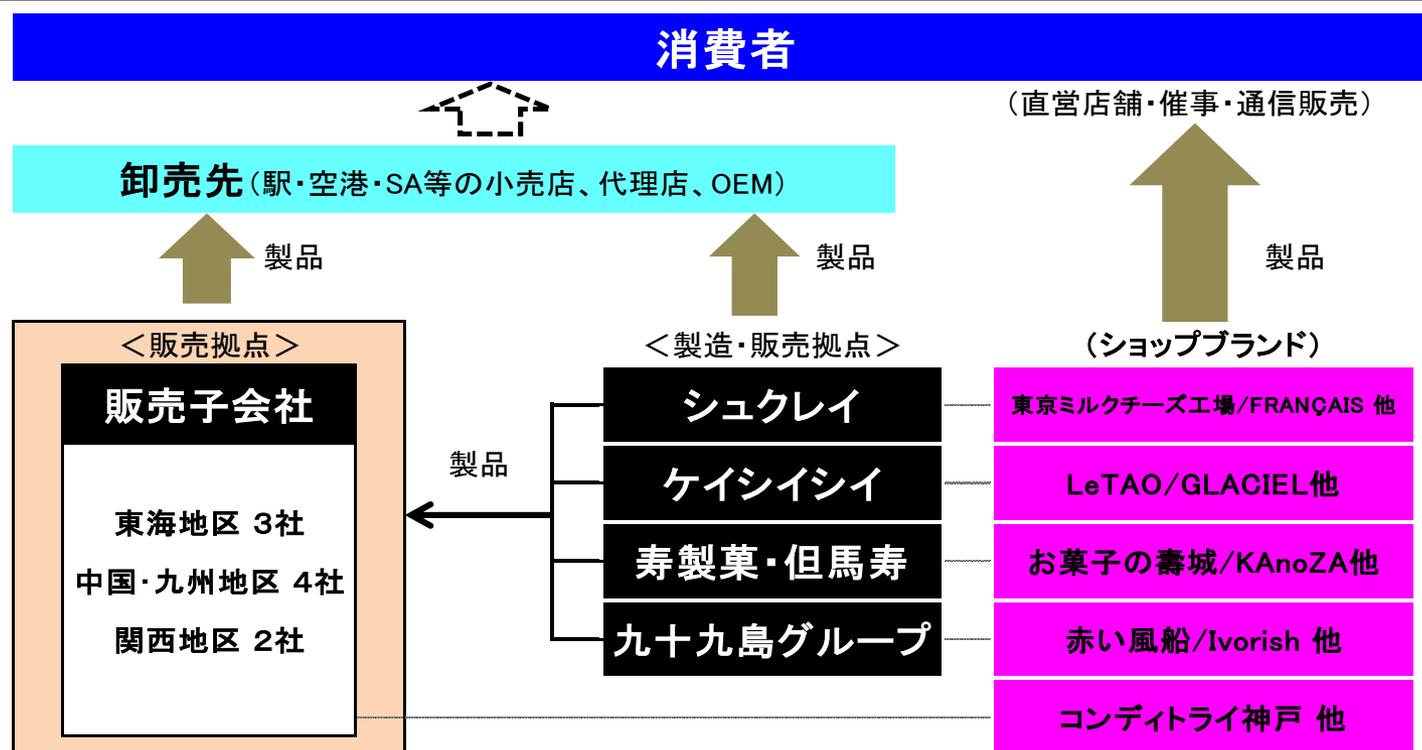
「九十九島せんぺい」

# 事業概要

当社グループは、当社(純粋持株会社)・子会社18社で構成。  
事業セグメントは、地域事業会社を基礎に区分。(地域事業会社の連合体)

北海道から沖縄に至る全国を網羅した販売プラットフォームと製造拠点の強みを活かし、企画・製造・販売までの一貫したサービスを提供。

[事業系統図]



注: 上図には、寿スピリッツ(純粋持株会社)、その他セグメントは除いている。



## 熱狂的ファンづくりの取り組み事例

「熱狂的ファンづくり」とは、経営理念「喜びを創り喜びを提供する」の行動指針を言い表した標語であります。

# 《寿製菓・但馬寿》

## ●白うさぎ一座による紙芝居公演

寿製菓の社員有志で結成された白うさぎ一座。地元保育園での紙芝居公演は大人気。素敵な神話と美味しいお菓子が引き継がれていく事を願い、これからも「因幡の白うさぎ」を伝え続けていきます。





# 《ケイシイシイ》

## ●小樽洋菓子舗ルタオ21周年祭

おかげさまで、小樽洋菓子舗ルタオは21周年を迎える事ができました。

6月に小樽洋菓子舗ルタオ本店2階カフェで3日間にわたりルタオ21周年祭を開催し、長年ご愛顧を頂いているお客様へ感謝の想いをお伝えしました。

